

尿管ステント留置・交換術、逆行性尿路造影術(RP)を受けられる方へ

主治医 主治医以外の担当者 担当看護師 担当薬剤師 担当栄養士

患者サポートセンター

患者さんご氏名

様

	入院日	手術当日		手術後1日目	2～3日目	4日目～退院日
		手術前	手術後			
治療 処置 検査	尿路感染、発熱時 点滴・抗生剤 必要時 CT検査など 	・手術室入室時間により点滴をします (点滴をする前に手術着に着替えませんが、下着はそのまま。術後はおむつです。)	・点滴をします ・術後数時間酸素マスクをつけます 	・必要に応じて採血、レントゲンがあります	→ 尿路感染や発熱があれば抗生剤の点滴などが追加されます。痛みに応じて痛み止めも追加になります。	敗血症の場合は2週間の抗生剤の点滴が必要になる場合があります。適宜、検査を行って対応します。
食事	・夕食まで食事が出ます ・21時より禁食です	・朝7時まで飲水可能です	・帰室後2時間から、ベッドアップし飲水が可能です (全身麻酔の場合は3時間後から)	・朝から食事開始です 		
薬	・入退院サポートセンターで内服薬を確認しましたが、術前の休薬状況や、ご持参いただいた薬を確認します。	・麻酔科から当日服用指示があったお薬以外は休薬となります。	 	・常用薬が再開になります ・血尿の程度で再開の時期を決めるお薬があります。		
排泄			・尿道カテーテルが入っています	・血尿の程度や排尿機能により、尿道カテーテル抜去の日を決めます。 ・尿道カテーテルを抜いた後の尿の性状を確認します ・排尿時の違和感や痛み、切迫性の失禁があります		
活動 清潔	・出来るだけお部屋でお過ごし下さい ・シャワー浴	・入れ歯、アクセサリ、ネイルアート、マニキュア、ウィッグ コンタクト、貼付物を外してください	・下肢の感覚が戻ったら寝返りが可能です ・帰室6時間後よりベッド上で座位可能です (全身麻酔は3時間後)		・清拭・シャワー浴が可能です 	
説明	・病棟や病室内の説明があります ・看護師が病歴などを聞きます ・手術について説明があります ・麻酔科医の術前診察があります ・手術室の看護師が訪室します	・歩いて手術室に行きます ・ご家族の方は手術中は院内待機場所でお待ちください (院外待機の場合は連絡先をお伝えください) 尿管ステント留置は緊急で行うことが必要な場合があります	・術後痛みや尿管の違和感が強い場合は鎮痛薬を使用します。 ・手術後担当医から説明があります ・ご家族にも対面かお電話・リモートで術後のご説明があります	《退院の目安》尿管を抜いた後、血尿が濃すぎず、自分で尿を出すことができれば退院になります 《退院後の注意点》 ・尿路感染防止のため1日1.5リットル程度の水分を摂ってください ・38度以上の発熱や、入院時に比べて明らかに濃い血尿がでた場合はご連絡ください 連絡先 03-3625-6381		
その他	・必要物品：入院時に必要な物品はレンタルのご用意があります不明な点はこちらでご質問ください 詳しくは、入院前に患者サポートセンターでお問い合わせください。			上記、入院中の療養計画について説明を受けました 年 月 日 本人またはご家族の署名		

特別な栄養管理の必要性： 有 無

DPC説明済

※この経過内容は、当院での標準的な診療内容を記載しています。経過には個人差があるため、この経過通りに進まないことがありますが、その都度対応しますのでご安心ください。